

↓ 10万人目の来館者である田中さん親子(右)



**開館6年目で到達
きいばす来館者10万人達成**

7月31日に、きいばす来館者10万人達成記念セレモニーが同施設で行われました。
きいばすは、平成29年4月に開館し、エネルギー環境教育に特化した教育プログラムを提供してきました。記念すべき10万人目の来館者となった田中麻利子さん・莉乃さん・大暉さん親子(小浜市)は「初めて来館した。いい施設なのでまた来たい」と述べていました。

↓ 捕獲した生き物を観察する子どもたち



**どんな生き物がいるのかな
三方五湖子どもラムサールクラブ**

7月23日に、三方五湖子どもラムサールクラブの活動が久々子湖で行われました。
このクラブは、三方五湖の自然を守り継ぐ人材を育成しようと平成30年に発足した団体です。
参加した子どもたちは、シジミ漁を見学した後、久々子湖に生えるヨシ原に網を入れ、捕獲した生き物を観察し、理解を深めていました。

↓ 実演でレシピを教わる参加者たち



**夏バテにひと工夫
美しみはま虹彩食講習会**

7月7日に、美しみはま虹彩食講習会がはあとびあで行われました。
この講習会は、げんげん歩楽寿の取り組みの一環として、野菜ソムリエの清水知美さんを講師に招いて行われ、食生活改善推進委員や町内の飲食店事業者が参加しました。
参加者たちは、夏野菜を使った減塩弁当をテーマに、食欲の落ちる夏でも食べやすい弁当を作っていました。

↓ 白熱した試合を展開する選手たち



**チーム全員で勝利を掴み取れ!
美浜町子ども会ミニバレーボール大会**

7月30日に、美浜町子ども会ミニバレーボール大会が総合体育館で開催されました。
大会には、各地区の子ども会から男女混合の5チーム、48人が参加しました。
選手たちは、チーム一丸となって優勝を目指し、試合に挑んでいました。大会結果は次のとおりです。
優勝 南市 Red ☆ Stars **準優勝** 郷市 sprite

↓ 美し野区内の公衆トイレを清掃する生徒たち



**地域の課題を実感
美浜中学校1年生地域ボランティア**

6月30日に、美浜中学校の1年生による地域ボランティア活動が町内各所で行われました。
この活動は、総合学習の一環として行われ、自分たちで見た地域が抱える課題を解決する手助けをすることを目的としています。
生徒たちは、清掃活動や奉仕作業を実際に体験し、それぞれの地域が抱えている課題を実感していました。



↑ 東美浜駅の駐輪場を清掃する生徒たち

↓ 世界のトマトを収穫できるハウスを一周する新幹線ロードトレイン



**開所3周年を記念
園芸LABOの丘3周年記念イベント**

7月16日から17日にかけて、園芸LABOの丘3周年記念イベントが同施設で行われました。
イベントでは、新幹線ロードトレインやバルーンアート、エア遊具等のアトラクションのほか、キッチンカーや地場産物の販売が行われました。
来場者たちは、季節の野菜や花とふれあいながら、自然の恵みを感じていました。

↓ 啓発活動を行う敦賀警察署員たち



**安心・安全な船舶運転を
マリレジャー事故防止広報活動**

8月6日に、敦賀警察署員らによるマリレジャーでの事故防止広報活動が三方五湖周辺で行われました。
この活動は、観光客が増える夏場のマリレジャーによる事故を防止するため、敦賀警察署が企画したものです。
署員たちは、三方五湖周辺でマリ事業を営む事業者や水上バイク等の運転者に危険性を記載した啓発物を配布し、安心・安全な湖面利用を呼びかけていました。



まちウォッチング
atching

子育てを応援します ～母子保健推進員～

町内には、地域で子育てを見守り、応援している人がたくさんいます。その中でも母子保健推進員は、妊婦や保育園・幼稚園に入園するまでのお子さんがあるご家庭を訪問し、乳幼児健診や教室の案内、日頃の心配事の相談に応じる等の活動をしています。また、離乳食講習会や子育て支援事業のスタッフとして、保護者の方が参加しやすいようお子さんをあやしたり、身体計測のお手伝いをしたりしています。

現在、町内では15人の母子保健推進員が地域の身近な相談相手として活動していますので、お気軽にご相談ください。



母子保健推進員一覧

担当地区	氏名
日向・笹田・早瀬	吉田 玲子
久々子・松原・矢筈	田辺 美穂
郷市・興道寺	八木 米子
大藪・気山	山口 眞由美
河原市	松本 みどり
南市	河合 美恵子
金山・久保・麻生・中寺・宮代・安江・五十谷・寄戸	重兼 和美
栄・小倉	佐竹 加代
新庄・雲谷	高木 多恵子
佐野・上野・野口	原田 弘美
和田・木野・佐柿・坂尻	清水 美由紀
佐田・太田・山上・美し野	石丸 清美
けやき台	小野 卓子
北田・菅浜	上田 かをり
丹生・竹波	南 佳住

※お問い合わせ先
町子ども・子育てサポートセンター
(担当・山口) ☎32-0192

すこやか 放送局

9月は 「げんげん歩楽寿運動」 推進強化月間」です!

毎年9月をげんげん歩楽寿推進強化月間として、「げんげん歩楽寿」を町民の皆さんに推進しています。今回は、町の健康づくりを進める団体をご紹介します。

げんげん歩楽寿は、「げんげん運動」に野菜の摂取と運動の推進をプラスした健康づくり運動です!

健康・福祉・子育てに関する情報をお知らせします。

※お問い合わせ先
町健康福祉課(担当・幸光)
☎32-6704

◎健康づくり推進協議会ワーキング部会の活動紹介

【役割】

- 町全体に「げんげん歩楽寿」の必要性や具体的な健康づくりの実践方法を普及すること
- 企業及び団体にも働きかけ、町全体で健康づくりを行う環境整備を行うこと

【メンバー】

町の子どもから高齢者に関わる団体の代表者をはじめ、町内企業や商工会、飲食店等のメンバーにより構成されています。

【活動内容】

- ①保育園や小中学校等で、親子を中心とした、野菜摂取を増やす取り組みの実施
- ②世代ごとの実践可能な運動方法の普及
- ③町内企業に「げんげん歩楽寿サポーター企業」となってもらい、企業内での健康づくりや企業からの発信を実施
- ④町内飲食店と連携し「げんげん弁当」による健康づくりを実施



健康づくり推進協議会ワーキング部会の皆さん



心のバリアフリー ～誰もが安心して暮らせるように～

心のバリアフリーとは、障がいのある人や高齢者等に対する無理解や偏見、困っている人がいても見て見ぬふりをしてしまう等の心の中にある障壁(バリア)をなくし、さまざまな心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことをいいます。



◎積極的に声かけを行きましょう

困っている人が近くにいたら「お困りですか」「何かお手伝いしましょうか」と勇気を出して声をかけてみましょう。もしも自分一人で解決できないことがあれば、周囲の人にも協力を呼びかけましょう。

◎話をしっかりと聞きましょう

どのようなサポートを必要としているかは、一人ひとり異なります。また、自分のペースで行動することに慣れていて、サポートを必要としない場合もあります。相手の話をしっかりと聞いて、意思を尊重しながら、サポートや見守りを行きましょう。

◎断られてしまったという経験がある人へ

困っている人に声かけをしたとき「結構です」「大丈夫です」と断られてしまったという経験がある人もいるかもしれません。その人はたまたまサポートが必要ではなかっただけで、声かけを必要としている人はたくさんいます。「せつかく声をかけたのに」「また断られたら恥ずかしい」と思わないでください。

私たちの生活環境はさまざまなところでバリアフリー化が進んでいますが、誰もが安心して暮らせる社会づくりに必要なのは、環境整備だけではなく、身近に困っている人がいたらどのような対応ができるかを知り、行動していくことが大切です。

重要!!

※お問い合わせ先
町健康福祉課
(担当・真田) ☎32-6704

げんげん歩楽寿実践者インタビュー

健康づくりに取り組んでいる藤田さんご夫婦にお話を聞きました。

*健康づくりに取り組まれるきっかけを教えてください。

以前からウォーキングはしていましたが、活動量計をつけて歩数を意識するようになってからは、ウォーキングが毎日の日課になりました。「めんどくさいな」と思うときでも「よし!頑張ろう」と思えるようになりました。

*食事の面ではどうですか?

町が主催する健康教室の中で、1日の野菜摂取の目安を「両手のひらいっぱい」と手ばかりで教えてもらったのがとても印象的です。それから毎食しっかり野菜を取っています。



藤田功子さん、均さん夫婦
(佐田)

推奨する1日の野菜摂取量は350gです。毎食両手の平いっぱい(120g)程度の野菜が必要となります。



ひと工夫!

加熱すると、カサが3分の1程度に減るので食べやすくなります。

慶弔

◎ご誕生

7/1～7/31受付分
(敬称略)

氏名	性別	父・母	住所
松木 葵央	女	博志・乃ノ歌	郷市
畑中 陽葵	女	豊隆・彩菜	竹波
田邊 律	女	樹・瑞紀	金山
田中 伶旺	男	雅人・あおい	松原
青山 朝陽	男	奨・あかり	佐田
村田 航基	男	龍哉・由加里	佐田
堀田 剛生	男	智哉・麻里	宮代

◎ご結婚

氏名	住所
浅妻 大輝 & (西川) 莉央	山上

◎おくやみ

氏名	住所	年齢	届出人
武長 初枝	五十谷	92	武長 保廣
木子 妙子	興道寺	61	木子 雅之
中川 三枝	興道寺	89	中川 文雄
吉田 茂	北田	92	吉田 実
松井 久夫	松原	87	松井 秀幸

※氏名に旧字体や俗字等が含まれている場合は、常用漢字で掲載しております。

わが家のアイドル



竹阪 伊織さん・園子さん(佐田)の長女

えみな 咲那ちゃん(1歳0ヶ月)

まんまを食べることがだいすきだからごちそうさまをする度に泣いちゃうの!そんな私の泣き顔や笑顔を見てみんな喜んでくれるよ!
あいさつはいつもハイタッチ♪私の得意技だよ!抱っこ大好き甘えん坊な私をこれからもよろしくね♡

町人さん

青年等就農計画認定書が
交付された

太田 浩義 さん(山上)



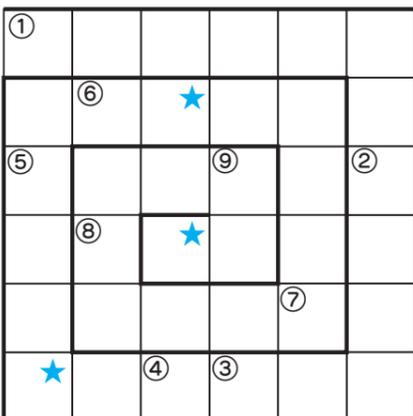
※認定書が交付された今、どのようなお気持ちですか。

身が引き締まる思いです。美浜町に引っ越してきて、半年ほどが経ちましたが、親切な方ばかりで、とても暮らしやすい町だと感じています。

※新規就農者としての意気込みを教えてください。

地に足の着いた農家になりたいと思いますし、まずは農業でしっかりと生活をしていけるよう精進していきたいと思っています。

広報みはま・ハートフルクイズ



こたえ ○ ○ ○

●キーワード

- ① ウナギを食べる日。本来は季節の変わり目。
- ② なんらかの非常事態に備え設置された出口。
- ③ 地面の下。土の中。
- ④ 魚や貝等の水産動物の総称。
- ⑤ その法律の定めによって国内流通するもの。労働の対価となる。
- ⑥ 炎を噴射すること。
- ⑦ 前もって勝負を打合せておき、うわべだけの勝負をすること。
- ⑧ 細菌よりも小さい。細胞を宿主にする。
- ⑨ ウリ科の果実。中身が黄色のものもある。

●応募方法

キーワードをとり、しりとりをしながら右回りにことばを入れてください。
★の中の文字を並べ替えると、美浜町の地区か場所かイベント名ができます。

はがきに、答えと住所、氏名(お便りも大歓迎!)を書いて、「広報みはまハートフルクイズ」係(〒919-1192美浜町郷市25-25)まで送ってください。
メールで応募される方は、次のアドレスに送信してください。

【メールアドレス】
kouhou-mihama@town.fukui-mihama.lg.jp

【QRコード】



締切りは、9月9日(金)(消印有効)です。正解者の中から抽選で5人の方に記念品をお送りします。

- 8月号の答え 早瀬
- 応募者総数は12人で全員正解でした。当選の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。

ふるさと昔話 (125)

若越城の会 30年の歩み②
～平成10年代～

若狭国吉城歴史資料館では、10月16日まで夏季企画展「若越城の会30年の歩み②『平成10年代』」を開催しています。

「若越城の会」は、昭和63年に発足し、令和元年に閉会した城の同好会です。同会は、福井県内を中心に全国計200カ所以上の城(跡)を訪れており、美浜町との関わりも深く、同会の見学会と本町の国吉城歴史講座を合同で開催したこともありました。同会が遺した豊富な資料からは、城内の城の基本情報や城(跡)の保存・整備の歴史を知ることができ、これらは現在当館に寄託されています。

令和4年度の企画展示では、同会の30年に渡る歴史を振り返ります。広報みはま7月号で掲載した春季企

画展では、同会の発足から設立10年目までの活動を紹介しました。今号に掲載している夏季企画展では、同会の歴史の中期にあたる平成10年代の活動の一部について紹介します。同会は、平成10年4月に設立10周年を迎えました。毎年度の会員数は約60～70人に落ち着く一方で、新しい入会者も一定数いる等、運営は安定していました。

平成10年代の活動で特筆すべきは、同会の世界進出です。平成12年には中国江南地方の都城、平成15年には韓国の倭城跡を見学しています。

また、美浜町での見学会の数も増え、この10年間で、国吉城址や岩出山砦跡、狩倉山城跡を見学しており、これには当館館長が案内役を務めています。この時期、本町では平成12年に国吉城址の発掘調査を開始し、平成18年には国吉城築城450年を記念して国吉城歴史講座を始めました。発掘調査と国吉城歴史講座はともに現在まで続いており、今や調査の成果を周知するために欠かせない事業へと発展しています。同会は調査が始まると、いち早くその成果にふれるほか、調査の成果を会報「若越の城館」に掲載する機会を本町に提供する等、調査前



↑佐柿町奉行所跡見学会(平成18年、個人提供)

に引き続き国吉城址の保存・活用に関心を示していました。平成20年2月、設立20周年にあたって活動を振り返る学習会が開かれました。同会は20年間で活動の場を世界へ広げ、まだまだ発展していくようにも見えました。

若狭国吉城歴史資料館では春季企画展に引き続き、見学会の写真や元会員の思い出のコメント、訪れた城(跡)のパンフレット等を展示しています。また、会報の複写を手にとってご覧になれます。皆さまのご来館をお待ちしております。

(若狭国吉城歴史資料館)

文芸欄

短歌

かをり歌会美浜支部

暑きなか友持ち呉れしズッキーニ

美味しくいたたく料理教はる

川崎 和美(久々子)

凶弾に倒れし安倍氏悼む声

世界の国より数多寄せらる

岸本 和子(松原)

野良に出で猛暑と成るも一陣の

肌を撫で行く風の爽やか

高木 勝美(新庄)

記帳せり血圧測定日に四度

気温体温 服薬便通

田波 耕(竹波)

梅雨上がり緑豊かな田園を

夏の北風安らぎくるる

成田 和夫(中寺)

窓に見る日野の頂き思ひ出す

「比丘尼転がし」攀り登りしを

松下 幸子(久々子)

コロナ禍は世間の絆の試金石

易と不易の見極め大事

三宅 宏(大藪)

梅雨あけて真砂の浜や小波も

おいでおいでとカッパもギャルも

山本 善昭(竹波)

■くらしのカレンダー■

令和4年9月

1 (木)	八朔祭(新庄)※関係者で神事のみ 古紙 (耳地区:河原市・南市・栄区を除く)	17 (土)	13:30~町民人権講座(なびあす)
2 (金)		18 (日)	8:00~ハートフル朝市(久々子水神公園広場)
3 (土)	美浜中学校文化祭(美浜中学校)	19 (月)	敬老の日
4 (日)	美浜中学校体育祭(美浜中学校グラウンド) 8:00~ハートフル朝市(久々子水神公園広場)	20 (火)	13:00~心配ごと相談(はあとびあ) 13:00~弁護士法律相談(はあとびあ) 13:30~「こころの相談室」※障がい者(児)相談 (はあとびあ)
5 (月)		21 (水)	古紙 (東地区)
6 (火)	9:30~保育園開放(みずうみ保育園) 13:00~心配ごと相談(はあとびあ) 13:30~「こころの相談室」※障がい者(児)相談 (はあとびあ)	22 (木)	13:00~1歳6か月児健診(はあとびあ)
7 (水)	8:00~総合健診[生活習慣病予防健診・肺・胃・ 大腸がん検診・肝炎検査] (北西郷公民館) 9:30~保育園開放(せせらぎ保育園)	23 (金)	秋分の日
8 (木)	古紙 (河原市・南市・栄区)	24 (土)	
9 (金)	9:30~保育園開放(あおなみ保育園)	25 (日)	8:00~ハートフル朝市(久々子水神公園広場)
10 (土)	10:00~結婚相談(はあとびあ)	26 (月)	
11 (日)	8:00~総合健診[生活習慣病予防健診・肺・胃・ 大腸がん検診・肝炎検査・歯科健診] (はあとびあ) 8:00~ハートフル朝市(久々子水神公園広場)	27 (火)	8:00~総合健診[生活習慣病予防健診・肺・胃・ 大腸がん検診・肝炎検査] (はあとびあ) 13:00~総合健診[大腸・子宮・乳がん検診] (はあとびあ) 13:00~心配ごと相談(はあとびあ)
12 (月)		28 (水)	13:30~離乳食講習会(はあとびあ)
13 (火)	13:00~心配ごと相談(はあとびあ) 13:00~司法書士法律相談(はあとびあ) 14:00~ミニさくらんぼ(けやき台第1集会所)	29 (木)	
14 (水)	古紙 (北・南地区)	30 (金)	
15 (木)		9月の納税 [納期限 9/30(金)] ※納付は口座振替が便利です。 町県民税(2期)、国民健康保険税(3期)	
16 (金)			

●イベント ●健康診査・検診 ●子ども行事

- 行事の予定は、8月16日現在のものです。一部変更になる場合がありますので事前にご確認ください。
- 網かけの日は、役場はお休みです。
- 古紙は古紙回収日、後に続く()内は回収地区です。
- ごみの休日受入は、第3日曜日以外の土日祝日(5月3日~5日、12月31日~1月3日を除く)の午前8時30分~正午です。
- 休日の当番医に関するお問い合わせ先 町役場 ☎32-1111(代表) 美浜消防署 ☎32-1190

人口の動き

人口総数	自然動態	+ 2
9,047人(-12)	出生	9人
男 4,440人(-3)	死亡	7人
女 4,607人(-9)	社会動態	-14
世帯数	転入	17人
3,652世帯(-8)	転出	31人
マイナンバーカード	応援人口	
交付率 40.8%	221人(+1)	
令和4年8月1日現在 ※()は前月比		

こんにちは
まちづくり推進課です。
今月号では、マイナンバーカードについて紹介しました。美浜町の交付率は、他の自治体に比べても低い状況です。今回の広報を読んで、一人でも多くの方がカードを取得していただけたら嬉しく思います。(巻)
▽表紙の写真
役場職員からマイナンバーカードの説明を受ける親子の様子です。これからさまざまな場面で使用できるようになるマイナンバーカード。お得なキャンペーンをやっているのが取得するチャンスです。
※お詫びと訂正
広報みはま8月号において誤りがありました。正しくは、次のとおりです。
18頁 まちウオッチング特別編
誤：6月19日 正：6月18日
22頁 文芸欄
誤：大古 正：太古
24頁 表紙の写真
誤：せせらぎ保育園
正：あおなみ保育園
町民の皆さんにご迷惑をおかけしたことをお詫びし、訂正いたします。